

シリーズ「変えてもいいの？憲法」

2018年1月7日（日） 13:30~16:30 南部梅郷公民館講堂

講演会 **核廃絶運動がノーベル平和賞受賞の今「原爆の実態をきちんと知ろう」**

講師：**大下克典さん（野田市原爆被爆者の会 会長）**

2017年国連では核兵器禁止条約が採択されました。そしてノーベル平和賞に国際NGO“ICAN”（核兵器廃絶国際キャンペーン）が選ばれ、改めて世界は核の脅威から脱出しようと踏み出しました。しかし唯一の被爆国日本は……。翻って私たちは“核”についてしっかり考え伝えてきたのか。野田市在住で原爆被爆者の会会長として活動を続けている大下さんに映像を含めお話しいただき、その後懇談します。ご近所、ご家族も誘ってお出かけください。

参加費 無料

主催 南地域九条の会 野田・九条の会



ノーベル平和賞受賞決定を祝う核兵器廃絶国際キャンペーン（ICAN）のフィン事務局長（中央）ら（6日、スイス・ジュネーブ）=ロイター

2月11日（日・祝） 13:30~16:00 野田市南部梅郷公民館講堂

講演会 **「自衛隊を憲法に書き込むとどうなるの？」**

講師 **半田滋さん（東京新聞論説委員）**



1955年（昭和30）年栃木県宇都宮市生まれ。下野新聞社を経て、91年中日新聞社入社、東京新聞編集局社会部記者を経て、2007年8月より編集委員。11年1月より論説委員兼務。1993年防衛庁防衛研究所特別課程修了。92年より防衛庁取材を担当。04年中国が東シナ海の日中中間線付近に建設を開始した春暁ガス田群をスクープした。獨協大学非常勤講師。法政大学兼任講師。

著書に、「零戦パイロットからの遺言—原田要が空から見た戦争」（講談社）、「日本は戦争をするのか—集団的自衛権と自衛隊」（岩波新書）、「僕たちの国の自衛隊に21の質問」（講談社）、「集団的自衛権のトリックと安倍改憲」（高文研）、「自衛隊vs北朝鮮」（新潮新書）、「闘えない軍隊」（講談社+α新書）など。

安倍総理の憲法九条 1,2 項はそのままに、自衛隊を九条に明記するとはどういうことか、日本は戦争する国になっていくのか、これまでも自衛隊について発言している半田さんのお話を聞いて考えましょう。

参加費 500 円

主催 野田・九条の会